

令和4年1月18日  
神奈川県こども家庭支援課

## 「令和3年度神奈川県寄り添い型生活支援事業業務委託」契約結果

令和3年度神奈川県寄り添い型生活支援事業業務委託について、公募型プロポーザル方式で受託候補者を特定し、次のとおり契約しました。

- 1 件名  
令和3年度神奈川県寄り添い型生活支援事業業務委託
- 2 委託内容  
「横浜市寄り添い型生活支援事業実施要綱」及び「神奈川県寄り添い型生活支援事業実施要綱」に基づき、養育環境に課題がある世帯の子どもと保護者を対象に、生活指導による日常生活習慣の改善や、学習支援による学力定着を図るための支援を行います。
- 3 契約の相手方  
公益財団法人よこはまユース（中区太田町2-23）
- 4 契約金額（税込）  
4,950,000円
- 5 契約日  
令和4年1月1日
- 6 評価結果  
提案者（2者）の順位と評価点数は次表のとおり

順位	会社名	合計得点
1	公益財団法人 よこはまユース	715
2	A社	705

- 7 評価基準、評価委員会の開催経過等

### 【評価委員会】

日時：11月11日（木）8時45分～11時

場所：区役所本館2階中会議室

評価委員：5名

議題：プロポーザル提案書に対する採点の集計について

### 【評価基準】

別紙のとおり

神奈川県寄附型生活支援事業 評価委員会 評価指標

【評価基準表】

関連様式	No.	評価項目	評価の基準	係数	上限配点	比率
1 提案者の概要・事業実績					15	8%
4	1(1) 1(2) ※添付資料を含む	提案者の概要、実績、信頼性及び安定性	本事業を委託する上で、児童福祉、青少年自立支援及び健全育成関連の活動実績並びに行政からの受託事業等から、十分に信頼できることが見込まれるか。	3	15	
2 業務実施方針					20	10%
5-1	2(1)アイ	現状の理解、課題認識	本事業による支援を必要とする小学生等及びその保護者が置かれた生活の現状や子育てに係る課題及びニーズを的確かつ十分に理解しているか。	2	10	
5-2	2(2)アイ	事業の実施方針	本事業の実施方針や実施方針を踏まえた事業運営の考え方が、具体的に適切であるか。	2	10	
3 業務実施内容と実施手法					120	60%
6-1	3(1)ア	生活習慣の把握	個々の利用者の生活習慣の把握方法が、具体的に適切であるか。	3	15	
6-1	3(1)イ	生活支援プログラムの有効性	基本的な生活習慣を身につけるための支援プログラムが、具体的に適切であるか。	3	15	
6-1	3(1)イ	生活支援プログラムの有効性	個々の利用者に応じた支援の実施や達成状況の確認方法が、具体的に適切であるか。	3	15	
6-2	3(2)アイウ	学習支援プログラムの有効性	基本的な学習習慣を身につけるための支援プログラムが、具体的に適切であるか。	3	15	
6-2	3(2)イ	学習支援プログラムの有効性	個々の利用者に応じた学習支援の実施について、進行管理や達成状況の確認方法が、具体的に適切であるか。	3	15	
6-3	3(3)ア	安心して過ごせる居場所の提供について	個々の利用者が安心して過ごせる居場所を提供するために必要なこと及びその取組が、具体的に適切であるか。	3	15	
6-3	3(3)イ	安心して過ごせる居場所の提供について	利用者のプライバシーの配慮についての取組内容が適切であるか。	3	15	
6-3	3(4)	保護者支援の取組	保護者に対する相談支援について、取組内容が適切であるか。	3	15	
4 業務実施体制					20	10%
7-1	4(1)	職員の確保や配置	従事職員の人材確保や配置の考え方について、具体的に適切であるか。	1	5	
7-1	4(2)	職員の役割と業務	従事職員の役割や業務について、具体的に適切であるか。	1	5	
7-2	4(3)	職員の教育・研修	従事職員に対する教育、研修の計画について、具体的に適切であるか。	1	5	
	4(4)	個人情報の取扱い	個人情報の取扱いに関する考え方、情報の管理方法、従事職員への研修の内容が、具体的に適切であるか。	1	5	
5 管理運営体制					20	10%
				加点あり	25	加点外数)
8	5(1)	区や学校等関係機関との連携	区役所や学校等関係機関との連携・情報共有の考え方及び方法が適切であるか。	1	5	
8	5(2)	利用者からの苦情処理体制	利用者の意見、要望の把握、苦情等の対応方法が適切であるか。	1	5	
8	5(3)	事故等の防止体制 感染症等への対策	事故等の防止や感染症対策に関する考え方及び具体的な取組内容について適切であるか。	2	10	
-	加点	次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定(従業員101人未満の場合のみ加算)		0	1	
-	加点	女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画の策定(従業員301人未満のみ加算)		0	1	
-	加点	次世代育成支援対策推進法による認定の取得(くるみんマーク)、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定の取得(えるぼし)、又はよこはまグッドバランス賞の認定の取得		0	1	
-	加点	青少年の雇用の促進等に関する法律に基づくユースエール認定の取得		0	1	
-	加点	障害者雇用促進法に基づく法定雇用率2.2%の達成(従業員45.5人以上)、又は障害者を1人以上雇用している(従業員45.5人未満)		0	1	
6 収支予算					5	3%
9		収支予算の妥当性	事業予算は、業務内容や業務実施上の管理運営体制に対して適切な金額であるか。	1	5	
合計					200	100%
				加点あり	205	-

## 神奈川県寄り添い型生活支援事業委託 評価基準

### 1 評価方法

- (1) 提案書の様式4から様式9について、ヒアリングの結果も踏まえて評価します。
- (2) 評価は、「提案書評価表」の各項目の「評価の着眼点」をもとに5段階で判定し、評価欄にそれぞれの配点を記入します。

	判 定	配 点
A	特に優れている	5
B	優れている	4
C	普通	3
D	劣っている	2
E	特に劣っている	1

※「5 管理運営体制」のうちワークライフバランスに関する取組の評価項目については、その取組の有無を加点します。優劣を判断する項目ではないため、配点は各1点とします。

- (3) 評価委員の評価点を合計し、その集計結果により受託候補者を特定します。ただし、提案書評価表における項目1から5において、全評価委員の総計がそれぞれの項目の配点の60%を基準点とし、1項目でも基準点を下回った場合には、失格とします。

項 目	配点 (A)	満点(B)※ (B=A×5人)	基準点(C)※ (C=B×0.6)
【1 提案者の概要・事業実績】 1 提案者の概要・事業実績	15	75	45
【2 業務実施方針】 2 業務実施方針	20	100	60
【3 業務実施内容と実施手法】 3 業務実施内容と実施手法	120	600	360
【4 業務実施体制】 4 業務実施体制	20	100	60
【5 業務実施上の管理運営体制等】 5 管理運営体制 6 収支予算	25	125	75 ※ワークライフバランスに関する5項目 ×1配点を除く

※満点及び基準点は、委員の欠席状況により変わる場合があります。